

サブドレン他水処理施設の運用状況等

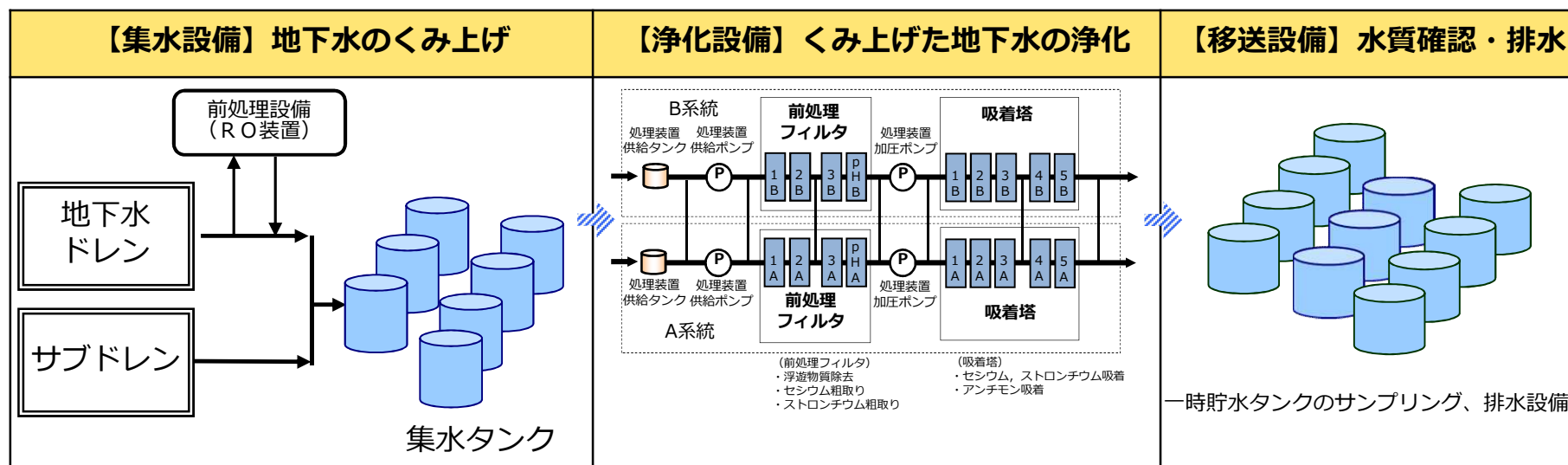
2021年5月27日

TEPCO

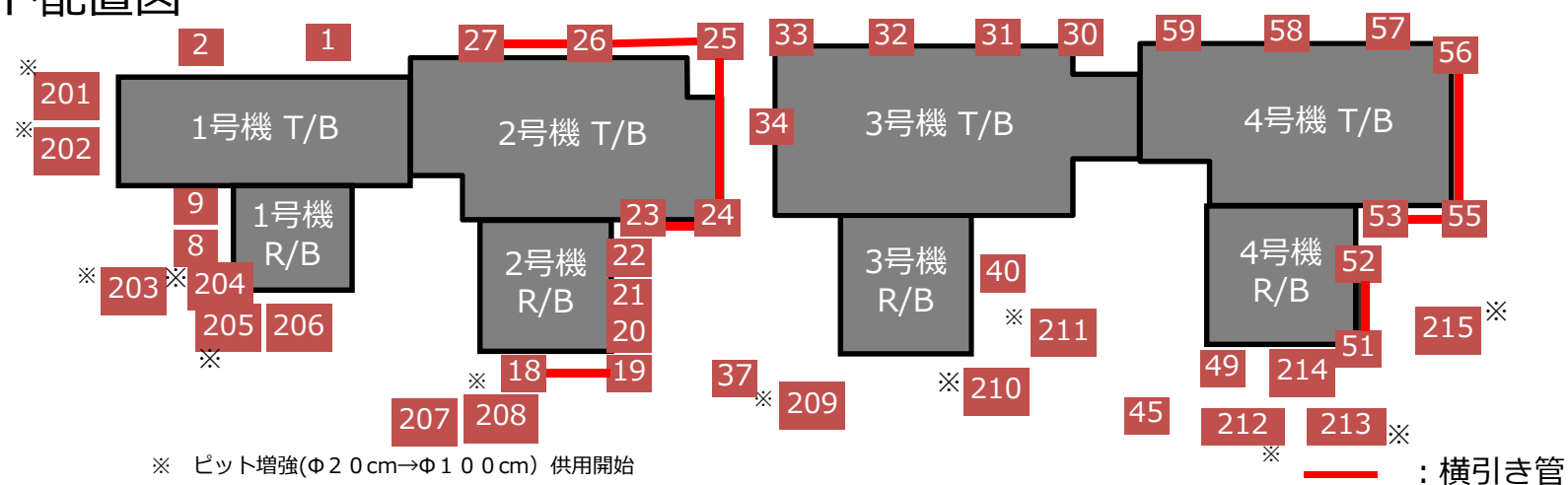
東京電力ホールディングス株式会社

1-1. サブドレン他水処理施設の概要

・設備構成

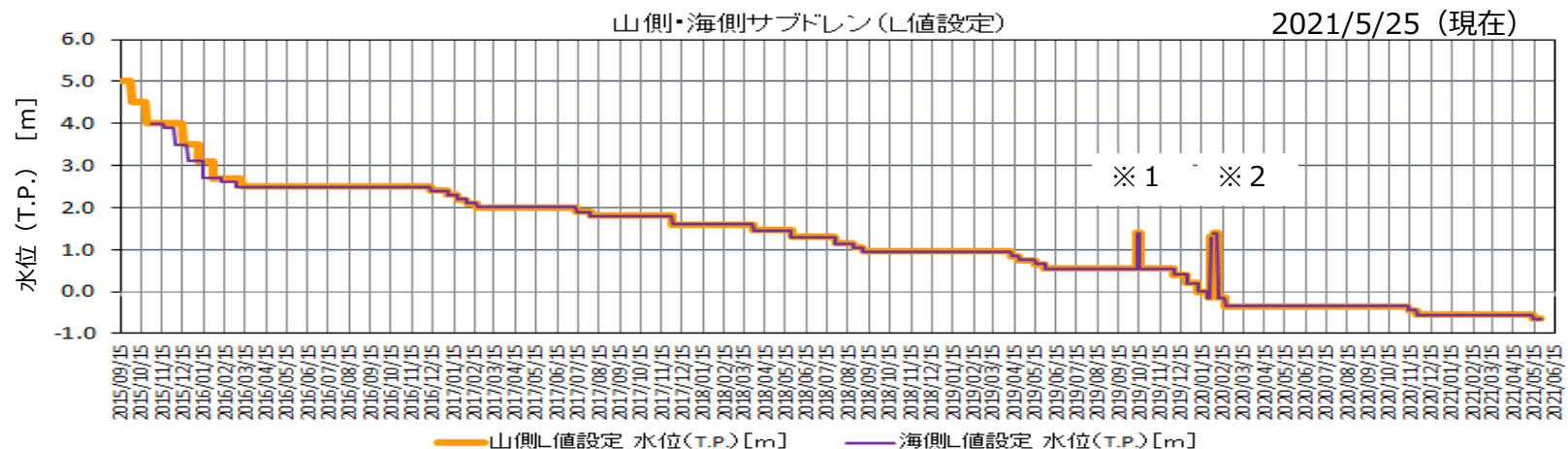


・ピット配置図



1-2. サブドレンの運転状況（24時間運転）

- 山側サブドレン設定水位のL値をT.P.+5,064mm から稼働し、段階的にL値の低下を実施。
実施期間：2015年 9月17日～、 L 値設定：2021年5月13日～ T.P.-650mmで稼働中。
- 海側サブドレンL値をT.P. +4,064mm から稼働し、段階的にL値の低下を実施。
実施期間：2015年10月30日～、 L 値設定：2021年5月13日～ T.P.-650mmで稼働中。
- サブドレンピットNo.30,37,57を復旧し、2018年12月26日より運転開始。No.49ピットは復旧後、2020年10月9日より運転開始。
- サブドレン集水設備No.4中継タンク内の油分確認により、No.4中継サブドレンピットのうち、No.40,210,211は現在停止中
 - ・ 11/26 No.4中継タンクの水位計異常に伴い、No.4中継サブドレンピットを停止
 - ・ '21/1末 No.4中継タンク内の油回収及び清掃を実施し、No.4中継サブドレンピット（8箇所）のうち、油分が確認されたNo.40及び近隣のピット210,211以外の5ピットの稼働を再開
 - ・ '21/3 No.40ピットの油分を回収（3/15開始）し、近隣のピット210,211を含めた運転再開を目指していく。
- その他トピックス
 - ・ 5/27 2020年5月に滴下が確認された前処理フィルター2Bについて、交換（1B及び2B）が完了し、運用を開始



※ 1 台風19号対応として10月12～15日の間、一時的に全ピットのL値をT.P.1400mmに変更した。

※ 2 1月の大雨に備えて基本のL値をT.P.1300mmとし、2月7日に水位設定値を元に戻した（L値:T.P.-0.15 m）

1-3. 至近の排水実績

- サブドレン他水処理設備においては、2015年9月14日に排水を開始し、2021年5月17日までに1,543回目の排水を完了。
- 一時貯水タンクの水質はいずれも運用目標（Cs134=1, Cs137=1, 全β=3, H3=1,500(Bq/L)）を満足している。

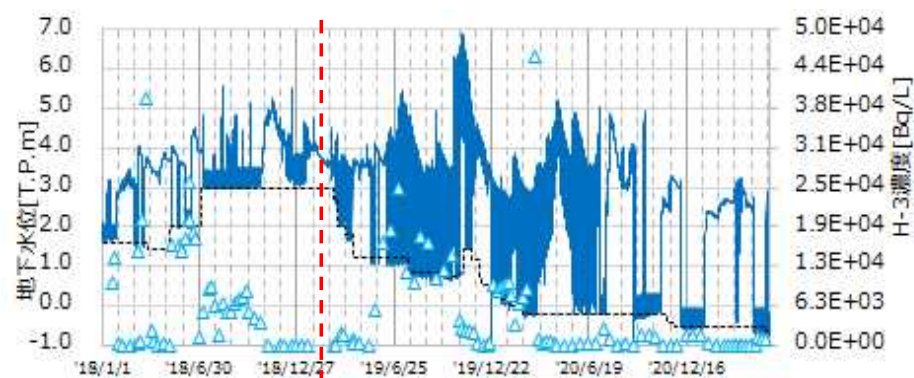
排水日		5/10	5/11	5/13	5/14	5/16
一時貯水タンクNo.		H	J	L	A	C
浄化後の水質 (Bq/L)	試料採取日	5/5	5/6	5/8	5/9	5/11
	Cs-134	ND(0.45)	ND(0.55)	ND(0.58)	ND(0.46)	ND(0.66)
	Cs-137	ND(0.65)	ND(0.60)	ND(0.77)	ND(0.65)	ND(0.60)
	全β	ND(1.8)	ND(1.8)	ND(1.7)	ND(1.8)	ND(0.59)
	H-3	830	800	830	770	860
排水量 (m ³)		830	346	765	714	681
浄化前の水質 (Bq/L)	試料採取日	5/3	5/4	5/6	5/7	5/9
	Cs-134	ND(4.4)	ND(0.47)	ND(5.8)	ND(5.0)	ND(5.6)
	Cs-137	39	23	46	38	59
	全β	290	—	—	—	—
	H-3	890	740	890	790	950

* NDは検出限界値未満を表し、() 内に検出限界値を示す。

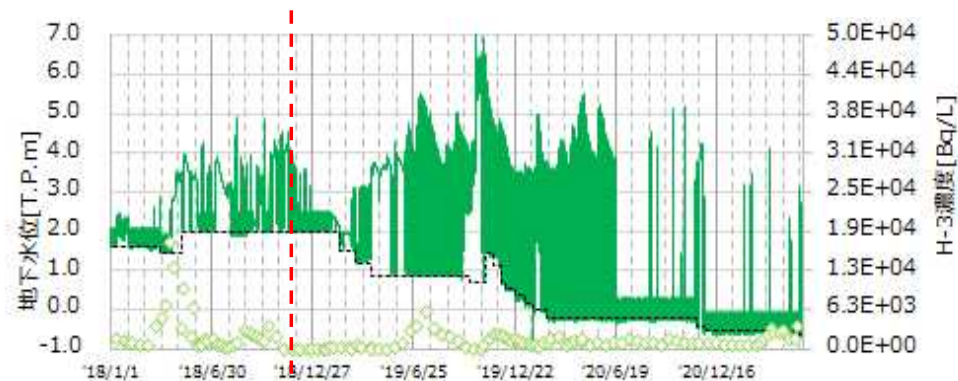
* 運用目標の全ベータについては、10日に1回程度の分析では、検出限界値を 1 Bq/Lに下げて実施。

* 浄化前水質における全ベータ分析については、浄化設備の浄化性能把握のため週一回サンプリングを実施。

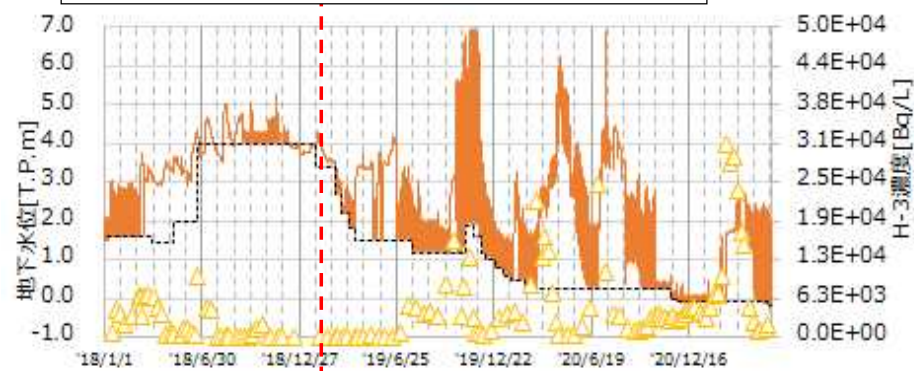
【参考】 1/2号機排気筒周辺サブドレンピットの水質



(凡例) — SD206 --- L値 △ SD206 H3濃度

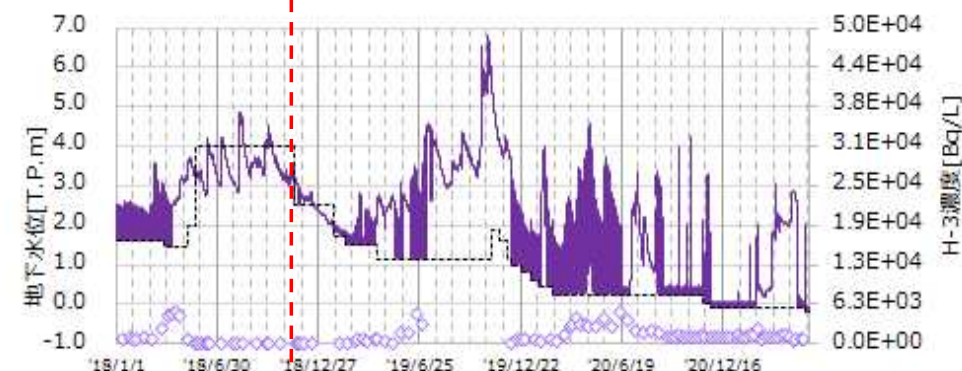


(凡例) — SD207 --- L値 ◇ SD207 H3濃度



(凡例) — SD205 --- L値 △ SD205 H3濃度

2019/2/6地改良完了



(凡例) — SD208 --- L値 ◇ SD208 H3濃度

2018/11/6地盤改良完了